

恵仁会 通信 (戮力協心) vol.34

発行所：医療法人社団 恵仁会 オウル歯科クリニック
〒004-0847 札幌市清田区清田7条2丁目17-3
TEL011-887-1182

発行日 2011年12月01日



18世紀江戸の歯磨き

1つの口の2つの病気。

皆さんが歯医者にかかるときの、いわゆる「歯の病気」は大きく分けて「むし歯」、
「歯周病」の2つです。しかし、この2つは原因・治療・予防法のすべてが、いわ
ば「風邪」と「食あたり」くらい別物だということをご存知でしょうか？

歯を融かし、激しい痛みを与える「むし歯」

「むし歯」の原因は「ミュータンス連鎖球菌」。口の中の糖分を使って、歯を融かしてしまいます。浅い部分のうちは
痛みはありませんが、徐々に広がって大きな穴をあけ、**歯の中の神経をも溶かして激しい痛みを与えます**。一度む
し歯になった部分は元に戻ることはないの、広がる前にそこを削ってプラスチックや銀歯で埋めてあげなければ、
いずれ噛む力に耐えられなくなった歯が碎けてしまいます。

口の痛がゆさ、口臭、熱や腫れの原因となる「歯周病」

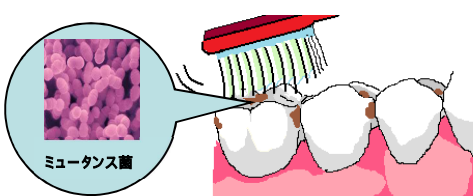
「歯周病」の原因は「P.g菌」をはじめとする多くの細菌群。やはり口の中の糖分を栄養にして増えていきます。軽い
状態では歯ぐきが腫れて赤くなるだけですが、やがて**痛がゆさや口臭**が生じ、ついには**歯の周りの骨が融けてしま
います**。支えを失った歯は、たとえ歯自体は健康であっても使い物にならず、自然に抜け落ちてしまうのを待つか、
他の部分を傷つける前にその**歯を抜いてしまうしかありません**。また**糖尿病や心筋梗塞**などの全身の病気を悪化さ
せることもあります。

2つの病気、2つの対策。

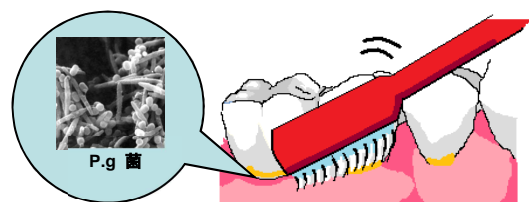
2種類の病気を予防し、治していくためには当然、それぞれに合わせた検査を行い、それぞれに有効な治療をし
ていく必要があります。

病気は「病原菌の強さ」と「体の抵抗力」の綱引きの結果で起こります。体の抵抗力の強さは個人や場所によって
バラバラです。「自分は歯が丈夫だから磨かなくても良い」と放っておくと、歯ぐきが先にやられて結局抜かなければ
ならなくなった...というのはよくある話。まずは何を、どう治せば良いか調べなければなりません。

歯医者さんで定期的な口のチェックと清掃指導を受けて、病気の予防と早期治療に努めましょう！



虫歯を防ぐには、歯と歯の間やミゾの汚れをねらう！



歯周病を防ぐには、歯と歯ぐきの境をねらってマッサージ！